

展示室7

四方田草炎の素描

2023年5月23日(火)～6月18日(日)

本展では「孤高の素描画家」とも称される、四方田草炎（1902-81）の素描を特集します。草炎は現在の埼玉県本庄市に生まれました。はじめ川端画学校で学び、後に日本画家の川端龍子に師事しました。号「草炎」は、龍子より彼の作品にちなんで授けられたものです。青龍社の展覧会に入選し社子に推されるなど活躍しましたが、昭和13（1938）年に青龍社を脱退、いわば「在野」で活動することになります。戦中には空襲で手元にあった作品すべてを焼失してしまいますが、戦後、特に素描に力を注ぎ、多くの優れた作品を残しました。

今回は当館に所蔵されている素描から、身近な動植物を精緻に描写した作品や、群馬県霧積山中の炭焼小屋で寝起きしながら描いた作品などをご紹介します。対象の本質へと迫る草炎の素描の魅力をどうぞご堪能ください。

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質・形状	寸法（縦×横cm）	備考
1	四方田草炎	野猿	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、額装	70.2×55.3	
2	四方田草炎	牡丹	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	132.3×123.8	
3	四方田草炎	鳥に楓	昭和時代	鉛筆、淡彩・紙、額装	59.7×90.5	四方田節子氏寄贈
4	四方田草炎	梅の枝に鳥	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、額装	54.3×84.1	
5	四方田草炎	林檎	昭和時代	鉛筆・紙、額装	56.6×69.0	四方田節子氏寄贈
6	四方田草炎	あわび	昭和時代	墨、淡彩・紙、額装	41.2×60.3	四方田節子氏寄贈
7	四方田草炎	風景	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	66.5×105.3	四方田節子氏寄贈
8	四方田草炎	山稜	昭和時代	鉛筆・紙、額装	84.3×132.8	四方田節子氏寄贈
9	四方田草炎	霧積	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	54.3×76.7	四方田節子氏寄贈
10	四方田草炎	霧積	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、額装	76.6×54.0	四方田節子氏寄贈
11	四方田草炎	霧積	昭和時代	墨、淡彩・紙、額装	86.1×75.0	四方田節子氏寄贈
12	四方田草炎	霧積溪谷	昭和時代	墨、鉛筆・紙、額装	190.0×127.0	四方田節子氏寄贈
13	四方田草炎	春雪	昭和時代	墨、淡彩・紙、額装	74.2×108.5	四方田節子氏寄贈
14	四方田草炎	溪流	昭和時代	木炭・紙、額装	152.9×96.1	四方田節子氏寄贈
15	四方田草炎	鳥と溪流	昭和時代	墨、鉛筆、淡彩・紙、額装	72.2×106.0	四方田節子氏寄贈
16	四方田草炎	橋	昭和時代	木炭、鉛筆・紙、額装	52.8×83.0	四方田節子氏寄贈
17	四方田草炎	枝に鳥	昭和時代	鉛筆、木炭、墨、淡彩・紙、額装	45.6×45.6	四方田節子氏寄贈

*作品保護のため、会場内の温度、湿度、および照度を調整して展示しています。また、都合により展示作品を変更する場合がございます。ご了承ください。

【次回予告】「ファイバーワークの世界」7月8日(土)～8月27日(日)

群馬県立近代美術館